

菅家町・公立大学法人会津大学 連携協定締結式



▲協定書に署名した菅家町長と岡理事長(兼)学長

只見町と会津大学が連携協定を締結

町の課題解決へICTを活用

町村としては初 同大学との連携協定を締結

6月5日、本町と公立大学法人会津大学との連携協定締結式が只見振興センターで行われ、関係者が出席しました。式では、協定の概要が確認された後、菅家町長と岡同大学理事長(兼)学長の協定書署名をもって連携協定が締結されました。自治体と同大学が連携協定を締結するのは6例目、町村では初となります。今回の協定により、本町は、コンピューター理工学において全国有数の実績やノウハウを持つ同大学と連携して、少子高齢化・人口減少など町の

様々な課題に対し、「ICT(情報通信技術)」を活用して解決することを目指します。また、奥会津エリアを中心に地域活性化に貢献してきた同大学短期大学部とも相互に連携し、本町地域資源の開発などに取り組む予定です。(連携協定の内容はP9左上の表を参照)

今後、専門的な知識や技術が不可欠となるICTの活用が、新たに効果的な対策を生み出し、課題解決の一步となっていくことが期待されます。

只見 連



ICTとは？

「情報通信技術」のことで、
通信技術を利用した産業や
サービスの総称

【表】連携協定の内容

● ICTを活用した人材育成

- 同大学が主催する「女性プログラマ育成塾」の受講促進（町内女性の就労支援）
- プログラミング教育必修化（小学校）への準備

● ICTを核とした産業振興

- ICT技術を活用した企業の生産性の向上及び経営の効率化
- ICT関連施策への支援

● 地域活性化活動を通じた交流人口の拡大

- 会津短期大学の学生による只見町の地域資源開発支援（JR只見線の利活用など）
- 上記を通じた学生の学びの場づくり

▶ TOI会議冒頭で会津大学の取組について説明する岩瀬理事



▲町内企業等の代表者が参加した第1回TOI会議

締結式後には、第一回「只見オープンイノベーション会議（通称・TOI会議）」を開催し、町内から企業などの代表者8人が参加しました。会議では、岩瀬同大学理事と高橋短期大学部准教授が、大学の取り組みについて説明を行い、その後、意見交換が行われました。意見交換では、企業側からICT導入に向けた展望や業種毎の課題が挙げられ、大学側が専門的な見解を述べるなど活発な議論が行われました。

町内企業などが参加し、 第1回TOI会議を開催

第1回TOI会議に出席した町内企業等

- 只見町建設業協会（永光建設株式会社）
- 株式会社会津工場
- 有限会社セイワ電子
- 合同会社メーデルリーフ
- おかみ会
- 株式会社ヒロタテクノ
- 有限会社三石屋
- 有限会社只見観光タクシー

同会議は、今後も継続して開催される予定であり、様々な形で企業と大学が個別に連携する可能性を探ります。また、企業との連携に限らず、会津短大生のユニークな発想によるJR只見線を活用した地域活性化など、連携協定内容の他項目についても順次取り組んでいく予定です。